

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪有機化学工業株式会社 大阪	階数	地上2F
建設地	大阪府柏原市片山町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	70 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,650 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2019年12月23日
敷地面積	8,136 m ²	作成者	プラナス株式会社
建築面積	1,765 m ²	確認日	2019年12月23日
延床面積	3,337 m ²	確認者	プラナス株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
利用者に配慮し、F☆☆☆を使用している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆を使用している。	主要給排水配管は耐応年数が長い材料を使用している。	道路に沿った緑化計画により良好な景観を形成できる計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能が高い材料を使用している。	再生材の使用や、擬音装置による節水等を行い省資源化に寄与している。	適切な車両出入口幅・駐車・駐輪場の設置により、周辺の混雑防止と交通安全に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0130

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪有機化学工業株式会社 大阪事務所 新研究棟・厚生棟建設計画					
	建設地	大阪府柏原市片山町					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.7	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		